

## キッズプログラム U-10 リーグ戦

### 【 開 催 実 施 要 項 】

1. 趣 旨 キッズ年代の U-10 のリーグ戦を主目的として開催するものである。  
子供たちがボールを蹴る楽しみを身近に味わえる機会の一つとして、本リーグ戦を主管しキッズサッカーの浸透に努める。
2. 名 称 キッズプログラム U-10 リーグ戦
3. 主 催 財団法人日本サッカー協会
4. 主 管 財団法人埼玉県サッカー協会
5. 運 営 財団法人埼玉県サッカー協会 第4種委員会  
埼玉西部地区少年サッカー連絡協議会
6. 期 日 平成23年6月4日（土）
7. 会 場 埼玉西部地区・所沢入間南部地区
8. 表 彰 表彰は行わない。
9. 参加資格 ①埼玉県サッカー協会第4種登録チームに所属しているチームのU-10の対象者であること。且つ保護者の同意があること。  
②スポーツ傷害保険に追加選手も含め加入していること。
10. 競 技 チーム構成 エントリーは16名以内とし競技者の数は8人とする。（内1人はGKとし、試合成立は6人以上とする。）  
選手交代 交代は自由な交代とし人数に制限を設けない。  
競技場 50M×35Mを標準とする。  
時 間 30分（前後半15分、ハーフタイム5分） PK戦は行わない。  
審 判 1人としチームからの帯同とする。
11. ルールの基本的な考え方  
(1)審判1人制を採用することにより、選手のフェアプレー精神を養う。  
(2)審判員を信頼し、判定に対して不平不満を表さない。  
(3)審判員の決定に従いつつ、ラインアウトについてはプレーヤーから申告するなどフェアプレーの精神を養う。  
(4)指導者や保護者など、大人のフェアプレー精神も養う。
12. 審判員の試合運営上の留意点（共通理解）  
(1)1人制であることから、よく動き、よい位置取りを心がけて説得力ある判定をめざす。  
(2)オフサイドの判定については、主審の見解で明確な場合のみを罰し、原則的に「疑わしきは罰せず」の考え方を取る。  
(3)スローインは、違反を探すのではなく、明らかな場合のみを罰し指導も行う。  
(4)フェアプレーの精神、よいマナーを養う目的から判定に対してや他の人に対しての言動にも注意を払い、指導する。
13. 各地区は、この実施要項に基づき細部運営要領を定めて開催することとする。